

Twitterで、動画ツイートとして投稿する宣伝用ボイス。

そのため、頭の空白は他のトラックより短く、一秒程度にする。

シチュエーションとしては、『05・蠟の翼の可動領域』の後。

例の麻酔薬を取りに行った後、薬品庫のガラス扉を鏡にして、主人公に自己紹介をする練習をしている。

心理状態としては、できるだけ悪役っぽく、嫌な人っぽく見せたいと思いつつ、それでも可愛いと思ってほしい。

サリアとしては、主人公を犯す悪い女を演じ切る覚悟を決めているつもりである。

でも、本当は自分の真の意図に気づいてほしい。

『そんなん無理でしょ』と思いつつも、トゥルーなハッピーエンドを諦めきれずにいる。そんな、ややこしく面倒な感情にあふれている。

「あたしはサリア。」

あなたの世界を脅かす、悪くい魔女です♥

【一呼吸置いて。『だけ』を強調する】

でも、勇者様のあなただけは特別。

【『いいよ♥』を特に可愛く】

現実とかいうマゾゲーから、救ってあげてもいいよ♥

あなたがあたしのものになる。

つまり奴隷になるならね♥

【一呼吸置いて。声のトーンが下がる。聞いている側に『奴隷にしようとするのには、何か理由があるっぽいかな?』と思わせる】

いっぱいいっぱい甘えさせてあげます。

何でも何でも与えてあげます。

【泣きそうな声で】

……あなたにはその権利があるから。

【一呼吸置いて。気を取り直して明るく】

さ♥ 奴隷は奴隷らしく。

『サリア様』って呼んでみて下さい？

【ものすごく甘ったるく】  
はいっ、せーの♥」

このままフェードアウトして終了。